

## 【基本理念】

## 多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区

## 基本目標1 多様な主体が参加する地域づくり

## めざす方向

多摩区は地域での様々な地域福祉活動が活発に行われており、多様な主体が日々、地域をより良くするために活動しています。担い手不足が問題になる中、今後も地域福祉活動を継続的に行っていくためには、全ての人（障害者、外国人市民、LGBTなどを含む）を支援する側・支援を必要とする側と単純に分けるのではなく、支援される側も時にはできることで支援をする側となります。そのような人たちを地域に増やしていくことが重要です。さらに、若い世代の地域参加を促すために、SNSなどを活用した情報提供の充実により、多様な人材が地域福祉活動に参加することで、活動の活発化や多様化が生まれ、地域福祉推進の原動力となります。

基本方針	具体的な取組・事業名	取組状況(令和2年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策(基本方針)への貢献度	回答課
(1)誰もが参加できる健康・いきがいづくり ⇒区民の健康を促進し、いきがいづくりを支援するため、誰もが気軽に参加できる場の提供の充実を図ります。	1 子育てグループ支援	子育てグループに対して専門職等が健康講話や相談等グループの支援を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していた期間もあるが、再開後は感染防止対策を行なながら運営しました。	保護者同志でのグループワークや個別相談を通して、育児の負担軽減や育児の孤立防止を図りました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	2 多摩区みんなの公園体操	公園や神社等区内34会場でボランティアが公園体操を運営。新型コロナウイルスのため一時休止するところもあったが、おおむね感染対策をし再開している。	地域のボランティアの方が運営し、地域住民の健康維持、生きがいづくり、人ととの交流促進と顔の見える活動を継続的に行ってている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	3 多摩区いきいき体操	いこいの家や自治会館等、区内21会場でボランティアがいきいき体操を運営。新型コロナウイルスのため一時休止するところもあったが、おおむね感染対策をし再開している。	地域のボランティアの方が運営し、地域住民の健康維持、生きがいづくり、人ととの交流促進と顔の見える活動を継続的に行ってている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	4 多摩区地区ウォーク	ボランティアが2地区(登戸、稻田)にて実施。今年度は開催できなかつたが、活動再開時の対策についての検討を実施。	地域のボランティアの方が運営し、地域住民の健康維持、生きがいづくり、人ととの交流促進と顔の見える活動を継続的に行ってている。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	5 いこい元気広場	【全市的取組】				地域支援課
	6 介護予防普及啓発事業	コロナ禍で高齢者を集めた介護予防教室は実施しなかった。今後、地域の特性に合わせて介護予防普及啓発していくにあたり、多摩区民の高齢期における健康データを集め、分析を進めた。	多摩区高齢者の健康課題を、主観情報だけでなく客観的データに基づき分析することで、今後の介護予防の重点テーマを設定できた。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	7 多摩区健康フェスタ	令和2年9月20日(日)に開催を予定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	緊急事態宣言発令中の令和2年5月に参加予定団体にてに参加希望調査を実施。その結果、半数弱の団体が参加を辞退し、十分なスペースの確保や衛生用品の入手も困難であったため、実行委員会の意思により事務局で中止を決定しました。 参加者、参加団体も高齢の方が多いもの、次年度についてもフェスティバル形式での開催は中止し、区役所1階アトリウムでの展示等、代替の企画を検討中です。	5 目標を大きく下回った	A 貢献している	地域ケア推進課
	8 パーサージュ・たま	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のとおり変更して事業を実施 ・パーサージュ・たま、8月を除く毎月1回、多摩区役所1階アトリウムで開催※9月～12月の各月1回、合計4回開催に変更 ・「パーサージュ・たま」運営委員会の開催※2回の対面形式での会議開催を予定していたが、うち1回はWeb会議に変更 ・区内の団体や施設等と協働し「パーサージュ・たま」を定期的に開催し、参加団体が活動紹介や作品の展示等を行っています。行政が事務局となり、会議や参加団体の調整等を行いました。	限られた実施回数の中で、感染症対策を行なながら可能な範囲で開催しました。当事者も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。 感染症対策については参加団体の意見を取り入れ、協議・検討しながら実施しました。 障害に対する理解と关心を深めるとともに、広報誌を作成し、各所に配布予定です。(2年ごとに作成)	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	9 障害者社会参加の活動	新型コロナウイルス感染症予防のため、一年間活動休止。				生涯学習支援課
	10 多摩区スポーツフェスタ	令和2年度においては、令和3年3月14日の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みて、中止とした。 イベントの代替案として、開催種目の一部をYouTubeにて動画配信する「第8回多摩区スポーツフェスタ at home」を実施した。	本イベントは、誰もが参加できるスポーツ体験事業として、地域の団体を構成員とする実行委員会形式で毎年実施しているものである。 今年度もハラリオビック様とのブラインドサッカーの実施を予定し、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じたうえで実施の準備をしていたが、感染拡大状況を鑑みて、実行委員会と協議の結果、中止となつたが、感染対策を踏まえた上で準備の検討や動画配信による代替手段の提供については、次年度以降同イベントを実施する際にも生かしていくものである。	4 目標を下回った	A 貢献している	地域振興課
(2)保健・福祉人材の育成 ⇒子どもや高齢者等に係わる保健・福祉サービスの充実を図るため、人材の育成に努めます。	11 子育て支援者養成事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のとおり変更して事業を実施 ・人材育成と活用を目的とした子育て支援者養成講座※連続講座を15回から9回に圧縮して実施 ・幼児と保護者の居場所としての親子ひろば※実施回数7回(中止3回) 参加人数の上限を設けるなど感染症対策を実施	養成講座については、会場受講生の上限を14名に絞り込んだが、新たに講座動画の配信を行い、50名の録画受講生の登録があり、受講生の問い合わせが広がった。また講座修了者が地域活動を始める際の参考になるよう、これまでより広範囲の地域活動団体の情報を集め、団体紹介資料として全受講生に配布した。 感染症対策で会場受講でのグループワークや実習等を行えなかったため、受講者間での交流等に課題が残った。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	12 すぐく子育てボランティア事業	子育てサロン(長尾・長沢)やぶよぶよザウルス(多胎児の会)、こうのとり(高齢出産の母)の会の他、産後相談や育児相談で活動した。地域ケア推進課の子育て支援者養成講座の参加者にボランティアグループの周知を行つた。	コロナ禍において事業の中止があつたものの、開催のあつた月には参加できた。メンバーハーの高齢化が進んでいるため、子育て支援者養成講座で若い世代のボランティアを募る他、こないちは赤ちゃん訪問員に広報するなどベテラン層への周知も検討していく。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	13 認知症サポート養成講座	一般向け養成講座を2回、小学校では8校で実施した。また、区役所主催の養成講座を1回開催した。認知症サポート養成講座修了者向けフォローアップ講座は、コロナ禍により中止した。小学校向け養成講座のフォローアップとして中学校認知症講演会を実施。2校では、新たに作成した認知症啓発冊子と動画を配布・配信し、2校では、それらを用いて講演会を実施した。	区役所主催の養成講座では、認知症カフェや徘徊高齢者等SOSネットワークについて紹介したところ、とても役立った感想が多く聞かれました。また、小学校の講演会及び中学校でのフォローアップでは認知症や具体的な聞き方に対する理解が深まつたという感想や、自身や家族という単位だけではなく、地域へ意識を向けて、共助社会の視点を持つことができた回答もあり、「安心して暮らし続ける多摩区」としての地域づくりの推進が出来たと考える。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	14 食生活改善推進員養成教室	健康づくりボランティア養成教室と合同開催しました。	6名が養成講座を修了し、1名が食生活改善普及員連絡協議会に入会した。協議会への加入数は少なかったが、既に地域で活動している参加者も多く、食育推進の啓発することができました。令和3年度も健康づくりボランティア養成教室と合同で実施する予定です。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	15 介護予防・健康づくりボランティア養成教室	食生活改善推進員養成教室と合同開催しました。				地域支援課
	16 ボランティア学習会	フレイル予防の運動講座と実技指導、栄養講話を行いました。	健康づくりや介護予防等に関わるボランティアが活動を継続するため必要な知識や技術を身につけられる内容としました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	17 子育て支援者スキルアップ講座	・例年2回程度対面方式で研修をしていたが、地域ケア推進課と協働でオンライン講演会(太田氏、大友氏)を1回実施。	地域での協働あり方や、どこへの探し方などをオンライン講演会の形で開催。また当日オンラインに参加できなかつた皆さんへは、後日配信を行い、多くの方に見ていただけたこと。64名の方が参加。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	18 保育スキルアップ研修	【全市的取組】				保育師等・地域連携担当
	19 地域課題解決につなげる地域人材育成事業	多摩区内のお気に入りの場所のジオラマを作り、受講者のジオラマをつなげてそれを背景として電車を走らせる。作品の成果発表として、講座の様子や電車の運転会の映像を多摩区チャンネルにアップした。	鉄道という共通の懸念事項を介して、異なる世代の人たちが交換する機会になりました。多摩区チャンネルの視聴回数は2,000回近くまでいき、多摩区の魅力を広く発信することができます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
(3)情報提供の充実 ⇒情報発信を積極的に行うことで、地域に関心を持ってもらい、地域福祉への意識を高めることをめざします。	20 子育てセミナー	子の発達を促せる親の関わり方にに関する理解を促し、こどもに語りかける育児の大切さを学び育児力の向上を図りました。R2.4月～6月、R3.1月～3月まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。参加は平均12組参加しました。	参加者の募集が多く、参加者から、子どもたちのふれあいや語りかけの育児を学び好評でした。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	21 認知症高齢者介護者教室	令和3年3月3日、17日、24日の3回コースで開催予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	市内医師や区内の社会資源従事者を講師にし、3回コースで講演会を企画。より身近で具体的な情報を参加者が得られるよう構成。申し込みのあった参加者に対しては事業中止のアナウンスの際相談があれば聞き取り相談先を案内した。	5 目標を大きく下回った	B やや貢献している	地域支援課
	22 シニア世代への地域活動促進の広報啓発	【平成31年度で事業終了】	【平成31年度で事業終了】			高齢・障害課
	23 こども・子育て講演会等事業	・コロナ感染拡大への懸念から中止とした。	・毎年好評な事業であるが、内容として、「声」をだしながら「身体」を動かすといったものであるので、講師とも協議の上、多摩区地域子育て情報ブックは、配布の希望を多くいただいている。子育て健康手帳の配布のほか、区内子育て支援施設等での配布やホームページへの掲載など、必要な方に広く情報を探せるように工夫しています。毎年新たな情報等を加え、内容を更新しています。	5 目標を大きく下回った	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	24 多摩区こども・子育て情報収集・発信事業 子育て事業の情報発信(CMS、SNS、子育てアプリ、市政など、チラシ等)	・多摩区内の子ども・子育て支援における様々な情報を集めた「多摩区地域子育て情報ブック」を作成しました(6,000部)。母子健診手帳交付者や乳幼児家庭の区内在住者、希望者及び区内の子育て支援者、関係機関に配布し、区ホームページに掲載しました。 ・毎月1回、計12回発行(子育てワンポイント)。HPでは毎月、紙媒体は区役所に配架するなどPRにも努めました。	・子育てワンポイントは、公立保育園の地域支援事業や地域サロン等で配布するなかで、HPへのアップの便りをいたしたこと。日々の子育てに活かしている、という声が聞かれます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	25 子育て応援冊子「いっしょにあ・そ・ぼ」の作成、配布 『子育てのワンポイント』の毎月発行	・4,000冊を作成し、子育て中の親子に配布しました。幼稚園・保育園等の園庭開放情報や行事予定を掲載し、子育てに有益な情報提供に努めました。	詳細な情報が1冊にまとまり、便利であると好評をいただいている。新年度の発行をお待ちいただいている。ただ、通所は事業実施の所や、施設訪問時にも配布しており、そういった対応が困難であったため配付枚数が減ってしまった。	4 目標を下回った	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	26 安全・快適に暮らせる住まいづくり講習	新型コロナウイルス感染症蔓延のため、昨年度まで行っていた保育園や高齢者施設向けの講習会は開催出来ませんでした。両親学級については、開催できる範囲で実施し、受講者について、風しんや新型コロナウイルス等の感染症対策、快適な住まいの過ごし方などについて講習しました。	両親学級では、これから赤ちゃんを迎える夫婦に対し、新型コロナウイルス感染症対策を含む生活環境に関する知識の普及啓発をすることができ、安全安心な生活の支援に繋げることが出来ました。	4 目標を下回った	A 貢献している	衛生課
	27 町内会・自治会への加入促進に向けた広報啓発・情報発信	・区町会連合会による啓発活動(年度当初の展示・啓発物配布、HPによる情報発信等) ・稲田町会連合会による登戸駅自由通路へのバナーフラッグ掲示、タウンニュースでの町会紹介の掲載	多くの方に町内会・自治会の役割を知つもらったり、加入を呼びかけるなど、広報啓発・情報発信を行いました。	3 目標をほぼ達成	C 貢献の度合いが薄い	地域振興課

## 令和2年度事業評価シート

## 多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区

## 基本目標2 多世代交流でつながる地域づくり

## 【基本理念】

## 【めざす方向】

子育て世代と高齢者世代は、社会的孤立による不安・不便という共通の課題を抱えています。子育て世代にとっては、子育て環境の変化や、いざという時の支援等の不足があり、高齢者世代にとっては、地域活動への参加機会の減少や、困ったときの担い手不足があります。それぞれの課題の解決には、世代の違う人とのつながりを強化し、多世代で助け合える地域にしていくことが、ひとつの解決策であり、地域・ご近所への関心も高め、地域力や組織力を高めます。地域で世代を超えて助け合える地域づくりの支援を通じて、地域のつながりの強化を進めます。

基本方針	具体的な取組・事業名	取組状況(令和2年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策への貢献度	回答課
(1)ボランティア・NPOの活動支援	28 多摩区こどもの外遊び交流事業	【主催イベント】 ・「思いっきり外遊び」 令和2年11月29日(日)開催 214名参加 換気、名簿作成など感染症対策を実施 ・二ヶ替用水の魚つかみ令和2年9月6日(日)開催 66名参加 換気、事前申込、二部・定員制とするなど感染症対策を実施 ・「夙づくと夙揚げ」令和3年1月11日(月)に開催を予定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・その他啓発事業、活動支援事業などを実施	多摩区こどもの外遊び交流委員会の事務局となり、物品貸出等の外遊び団体の支援を通して、住民活動を活性化させることができました。 地域の子育てサロン等の集まる場が中止されていたため、「思いっきり外遊び」の参加者が昨年度より50名以上増加しました。外遊びを通して、若い世代の交流や地域活動への参加を促進することができました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	29 介護予防グループ支援事業	区内介護予防グループに対して、保健師等の専門職による健康相談や健康講話等を行いました。	健康相談や健康講話を行ったことで、参加者やボランティアの自身の健康支援につながり、随時運営の相談にのリグループ活動支援を行いました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	30 地域リハビリへの支援	今年度は依頼なかったため実施せず。	自主グループとして運営し、地域住民の健康維持、生きがいづくり、人ととの交流促進と顔の見える活動を継続的に行ってい	5 目標を大きく下回った	A 貢献している	地域支援課
	31 老人クラブ育成事業	【全市的取組】 ・各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災活動促進助成金」を助成 ・各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を購入する場合に、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」を助成	・令和2年度は11件の助成金申請がありました。 ・令和2年度は22団体が防災資器材購入補助金を利用されました。	3 目標をほぼ達成		高齢・障害課
	32 自主防災組織への支援	・地図解説の解決や安心・貢献のある暮らしの実現に向けて、自主的に実施する公益目的の新しい活動を、地元の団体と協働で取り組んだ。 ・令和2年度については、実施された4事業の中から審査会を経て、2事業を選定し実施した。 ・各事業について、区HPや市政だより区版で広報を行った。 ・事業の進捗管理を行うため、中間報告書の提出受け、事業終了後に報告書及び決算書の提出を受けた。 【授託事業(2事業)】 1.多摩イクリー&ミナー&ワーキング～誰がい先とそのご家族の為のスケルプス～(当日参加4人) 一部ワーキングを中止とした上で、オンラインで開催した。 ※3月中にハイブ当日の様子を録画したものYouTubeに掲出し、団体HPでURLを掲出 2.ソーシャルテクノロジヤキヤンパ多摩区仮想異常トライアルでSD体験(当日参加90人) 一部のイベントを中止とした。 ※3月中に一部イベントの様子を録画したものYouTubeに掲出し、団体HPでURLを掲出	・対面での取り組みだけではなく、オンライン(Zoom)を活用した取り組みも実施でき、地域課題の解決や安心・貢献のある暮らしの実現に向けた事業が実施された。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	企画課
	33 磨けば光る多摩事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため団体の交流の場である全体会は実施なし	令和4年4月緊急事態宣言発出に伴い、町内会・自治会、市民活動団体の総会等が書面表決での実施になるなか、市民活動支援のため、新型コロナウイルス感染症対策を行いつながら印刷室の開放を続けた。	4 目標を下回った	B やや貢献している	地域振興課
	34 市民活動支援事業	町内会・自治会の抱える課題の解決に向けた講演会等の開催。多摩区町会連合会役員会の中に地域コミュニティの活性化促進委員会を設置し、加入促進や活性化に資する講演会について意見をいただきながら実施。	加入促進やイベント等での参加者集め、町内会・自治会のいろいろな活動を活発にする事例を聞き、参加者による意見交換を通して活動の参考とする講演会を実施した。	3 目標をほぼ達成	C 貢献の度合いが薄い	地域振興課
	35 地域活動に関する講演会等の開催	令和2年3月末をもって多摩区まちづくり協議会解散により事業なし				地域振興課
	36 区民との協働によるまちづくり活動 実践事業	市民団体が提案した短期学級(1事業)、企画事業(2事業)を行政と協働で実施する予定でしたが、そのうち企画事業1事業が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。 ・短期学級 川崎の歴史や特徴を学ぶ講座(全5回) ・企画事業 子ども同士・親同士の交流を深める事業(4回) 【中止】地域の居場所づくりを目的としたカフェ運営講座と運営事業(月1回)	学級、事業多くの申込者があり、企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目標で課題を共有し、問題解決に向けて話し合うことができました。行政としては、効率的な広報方法や会計処理など講座がスマーズに運営できるように支援しました。新型コロナウイルス感染症防止のため、手帳消毒、換気、会場換気を徹底して三密回避を行いました。 今後も市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化に努めたいと思います。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
	37 市民自主学級・市民自主企画事業	予定していた各地区での地域づくりフォーラム等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代わりに情報収集・発信の取組を実施しました。 ・地域の情報収集・共有 町内会・自治会や地域活動団体へのヒアリング・アンケート調査、関係機関との情報交換 ・住民への情報発信 多摩区ホームページのリニューアル(7月) 地ヶ原漫画を活用したバトル展示(1月・2月、年2回) カフェ交流会のアトリウム展示に協力(12月) 生田地区ご近所パワーアップ通信の作成	新型コロナウイルス感染拡大防止のためフォーラム等は中止し、代わりに広報誌の作成やアトリウム展示等を通じて、地域活動の紹介や地域包括ケアシステムの啓発を行いました。地域住民や活動団体にヒアリングやアンケート調査を実施し、情報収集と共に、收集した情報の分析を進めました。 今後は、身近な地域での支え合い活動を促進するため、小地域で課題を共有し、解決に向けた住民主体の活動を支える伴走的な支援と、住民の自助・互助の意識醸成のための情報発信や働きかけを行っていきます。	4 目標を下回った	A 貢献している	地域ケア推進課
	38 多摩区地域包括ケアシステム推進事業	地域子育て中の親子が集まる身近な場所として、長尾地区・長沢地区を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、R2.10月から12月の期間のみ開催。予約制、乳児とその保護者を対象とし、感染症対策を行い実施しました。	集団遊びを通して子育ての楽しさ伝え、母親同士の交流の機会を設け育児の孤立化を防止し育児不安や育児負担の軽減を図りました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	39 地域子育てサロン「ママ'sサロン」	今年度は依頼なかったため実施せず。	自主グループとして運営し、地域住民の健康維持、生きがいづくり、人ととの交流促進と顔の見える活動を継続的に行なっています。	5 目標を大きく下回った	A 貢献している	地域支援課
	40 リハビリ交流会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マタニティ食育体験教室を4~6月は中止し、7月から両親学級時にレシピを配布する形式に変更した。	両親学級1日目参加者の173人に配布し、家庭での実践を促すことができた。	3 目標をほぼ達成	B やや貢献している	地域支援課
	41 マタニティ食育体験教室・親子料理教室	患者を対象としたデイケアプログラムを感染状況みながらであたため、予定の約半分の開催となつた(年12回)。家族を対象とした家族教室はコロナのため中止。家族会は感染状況をみながら開催した(年2回)。	患者を対象としたデイケアでは、患者のリハビリとなるよう様々なプログラムを実施しました。家族教室は実施できませんでしたが、家族会では情報・意見交換を行うことで当事者同士の交流と支えの場になりました。	4 目標を下回った	A 貢献している	高齢・障害課
	42 患者・家族会等のグループ支援	・「ママとあそぼうハハハね！」事業については、年間を通して中止とした。しかし、交流の場を求める声もあったことから、生田保育園のスペースを利用して、行政職員による代替事業を行つた。	・例年は、児童委員等と一緒に、区内3か所で開催していましたが、コロナ感染拡大もあり運営が難しいと判断。替わりに生田保育園の地域スペースを利用し、小規模ながら行政職員で代替事業を実施。遠方からの参加もありニーズの高さを感じる。51回284名。	4 目標を下回った	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	43 親と子の集いの場づくり事業	・生田エリア、宿河原エリア、土沢エリアの3地区で年間7回程度、計185名の参加がありました。子育ての悩み相談等子育て支援を実施しました。	・秋口からのスターとなつたが、人数制限をするなどして感染対策をとりながら開催。子育ての悩みを共有し、年齢や年齢の異なる先輩ママからアドバイスをもらうなど、悩みの解消や子育ての孤立化防止ができました。	4 目標を下回った	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	44 だんだんの会	・園どおしの交流などを目的とした事業ということもあり、コロナ感染症対策のため年間を通して中止とした。	・公園が中心となり各施設と併せ連絡を取り合い、情報交換を行なうなどして、コロナ禍の園運営の課題解決を行なうようにした。場合によつては、訪問・お便りの作成などで、交流に努めた。	4 目標を下回った	A 貢献している	保育所等・地域連携担当
	45 おいでよ！たまっ子～あおぞら保育～	・いのちの授業～いのちの音をみんなで聴こう～の開催(区内小学校5校にて実施) ・「動物愛護ハネル展」の開催	新型コロナウイルス感染症が流行するなか、子供達との距離を保つなど感染症対策を考慮したうえで実施希望のあった小学校にて、いのちの授業を実施することができました。	4 目標を下回った	A 貢献している	衛生課
	46 動物愛護事業	・多摩区総合庁舎での開催(年1回、9月第3日曜日開催)予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため6月の実効委員会で中止決定しました。 ・市民と行政機関で構成された実行委員会を3回、参加団体説明会を1回開催	毎年4月から月1回のペースで実行委員会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言のため、6月からのスタートになりました。6月の実行委員会の中で委員から不特定多数の老若男女が4,000人来場イベントで、3箇回避の方法が見つからないなどの結論に至り、中止となりました。参加団体には文書で連絡し、ホームページにも掲載し周知しました。	5 目標を大きく下回った	A 貢献している	生涯学習支援課
	47 たまたま子育てまつり	令和2年6月21日(日)に開催を予定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	令と2年4月9日開催した第7回実行委員会において、全出席委員の意見が中止すべきとの内容であったことから、中止と決定した。次年度に第20回多摩ふれあいまつりとして開催する。 参加者、参加団体も高齢の方が多いため、次年度についてもフェスティバル形式での開催は中止し、区役所1階アトリウムでの展示等、代替の企画を検討中	5 目標を大きく下回った	A 貢献している	生涯学習支援課
	48 多摩ふれあいまつり	乳幼児期の子どもを持つ親子が自由に入りできるフリースペース「子育てひろば(毎月第2、第4火午前)」と保護者が外国人の親子が交流するフリースペース「外国人の子育てひろば(毎月第2金午前)」を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月~8月まで中止。定員の上限を設け、定期的な換気や手縛消毒の徹底等の対策を講じて9月から再開しました。	子育て支援グループの協力のもと、通年で開催しているため、事業の情報を広く区民に知られるようになり、子育て中の親子の居場所となりました。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	生涯学習支援課
	49 子育てひろば・外国人の子育てひろば	三田第2公園の第3期整備工事(園路等の施設更新工事)を実施しました。	工事にあたり地元と調整をとりながら事業を推進しました。既存の古い施設等が更新され、利用者からも好評を得ています。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	道路公園センター整備課
	50 既設公園リフレッシュ事業	多摩区地区カルテのホームページ公開(令和2年4月) 多摩区地区カルテの定期更新(令和2年7月) 共通フェイスシートの作成	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域活動の多くが中止となり、地区カルテを地域で活用することができませんでしたが、今後に向けてホームページ公開し、ヒアリング等の機会に地域団体に説明を行いました。また、庁内職員を対象とした地域づくり勉強会や多摩区ソーシャルデザインセンターでの地ヶ原の説明会等で地区カルテを利用しました。今後は、住民と地域の構造や課題を共有するためのツールとして活用を検討していきます。	3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	51 地区カルテを活用した地域づくり			3 目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課

## 【基本理念】

## 多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区

## 基本目標3 見守り・支え合いのネットワークづくり

## 【めざす方向】

個人や家庭の生活課題が複雑化する中、複数の機関や関係者が関与しなければ解決が難しいケースも増加しています。高齢者、子ども、障害者などのそれぞれの課題に区民、町内会・自治会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、NPO、保健福祉団体、保健福祉サービスを提供している関係機関等、様々な立場の人々が協力し合い、連携を深めていくことが重要です。さらに、あらゆる面からきめ細かくサービスを提供できるように、区民・団体・関係機関・行政の連携を強化し、サービスの向上を図ります。

基本方針	具体的な取組・事業名	取組状況(令和2年度)	取組状況に対する評価	事業の達成度	施策への貢献度	回答課
	52 多摩区こども総合支援連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども総合支援連携会議の開催(1回)            ※当初2回会議予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回目の会議を中止し、2回目は書面で開催しました。</li> <li>・子ども育て支援講演会(1回)            ※当初開催予定の地区会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。代わりに録画受講を取り入れた講演会を、保育所等・地域連携担当と連携して開催しました。</li> </ul>	<p>こども総合支援連携会議書面を通じて、コロナ禍での事業の実施状況や今後の取組、アイデア等の情報を収集し、子育てに関わる機関・団体と共有しました。また、子どもや子育てに関わる方々を対象に、子どもの居場所をテーマに「子ども育て支援講演会」を録画受講を取り入れて開催しました。参加者からは活動の目的を再確認できた、多世代交流の必要性を実感できたといった意見がありました。</p> <p>今後も、会議等を通して地域団体の連携を深め、地域全体で子育て支援を推進していきます。</p>	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	53 チーム・たまの活動	令和2年7月7日(火)に市民公開講座を開催予定(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	例年、本講座は高齢の参加者が多いため、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止とした。次年度以降の在り方については、多摩区在宅療養推進協議会との連携のもと、在宅医療の推進並びに多職種連携の強化にかかる企画を検討していく。	目標を下回った	A 貢献している	高齢・障害課
	54 多摩区支え合いのまちづくり推進会議	・多摩区支え合いのまちづくり推進会議の開催(4回 うち1回は書面開催)	第6期多摩区地域福祉計画策定とその上位概念である多摩区の地域包括ケアシステムを推進するため、地域福祉に関する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見伺うことができました。	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	55 多摩区食育推進分科会	<ul style="list-style-type: none"> <li>「災害に備える食育の推進」をテーマに、食育推進分科会を開催した。(対面形式で10月19日、書面形式で1月に開催)</li> <li>災害に備える食育の推進のため、啓発物やレシピを作成し、ホームページを公開した。</li> </ul>	啓発物を約1200部配布し、区民に備蓄の必要性や方法について啓発することができた。	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	56 地域ケア会議(個別ケア会議・地域ケア圏域会議・地域ケア推進会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケア会議の開催(年6回)</li> <li>・地域ケア会議の開催(年3回)            * 地域ケア推進会議は、地域ケア連絡会議の再編・統合により廃止(全市的に廃止)</li> </ul>	地域ケア関係会議の開催を通じて、地域の関係者と共に地域課題を抽出・検討(意見交換)することで、地域包括ケア体制の推進に寄与することができました。	目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課
	57 多摩区地域包括支援センター連絡会	【全市的取組】				高齢・障害課
(1)区民・団体・行政との連携  →区民・団体・行政が一体となって協力・連携し、支援体制の充実を図ります。	58 多摩区健康づくり推進会議	「働き盛り世代の男性のアルコール摂取と肝臓の健康について」をテーマに、会議を年2回開催しました。健康に関する意識向上を図るためにリーフレットを6000部作成し、講演会を開催ましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。	委員の協力を得てリーフレットを作成。各種機関に配布し普及啓発を行い、健康に関する意識向上を図ることができた。	目標を下回った	B やや貢献している	地域支援課
	59 多摩区食生活改善推進員連絡協議会への支援	、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった月もありましたが、年5回の定例会と年9回の運営委員会に出席し、講話や情報提供を行いました。	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域での活動がほぼ中止となっていたため、地域へ啓発の支援は減少したが、会員の資質向上の機会を持つことができた。	目標を下回った	B やや貢献している	地域支援課
	60 多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議	第1回 9月2日に実施。児童相談所報告、児童家庭相談報告・区役所の取組報告、令和元年度実務者会議報告、機関紹介、情報交換等 第2回 12月7日に実施。テーマ『ネット社会に生きる子どもたち』を設定し、久里浜医療センター臨床心理士・北湯口孝氏を講師による講演を行いました。 大学教授によるSVを年3回実施しました。	第1回の機関紹介や区内における児童虐待状況の情報共有やコロナ対応についての情報交換は、その後の連携した児童虐待対応や各機関がコロナ対策を考える上で有効でした。第2回については、研修のテーマとしては珍しく、とても参考になったとの意見が聞かれました。大学教授によるSVは関係機関の方にも参加していただき、特に児相と区との合同研修は初めて行い、連携を深めることができました。	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	61 公立保育所の地域支援推進事業	【全市的取組】				保育所等・地域連携担当
	62 多摩区幼・保・小連携事業	【全市的取組】				保育所等・地域連携担当
	63 民営保育所・保育施設等への訪問・連携	【全市的取組】				保育所等・地域連携担当
	64 年長児担当者会議・保育の交流	【全市的取組】				保育所等・地域連携担当
	65 多摩区地域自立支援協議会	今年度は令和3年度10月から新たな相談体制をスタートするため、定例会は中止し、自立支援協議会企画運営会議を中心に3年度以降についての話し合いを行いました。	3年度10月からの自立支援協議会の体制を確立し、定例会、企画運営会議、ワーキングの内容を決めました。	目標をほぼ達成	B やや貢献している	高齢・障害課
	66 多摩区精神保健福祉連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会議(年4回)・作業部会(年7回)の開催</li> <li>・講演会チラシ2万部超を作成し区来庁者、大学や医療・福祉の関係機関へ配布</li> <li>・精神保健福祉に関する講演(年1回)はコロナのため入場中止、代わりに多摩区チャンネルに講演内容を動画記録</li> </ul>	令和2年度のタイトルは「新型コロナウイルス禍におけるメンタルヘルス～こころを元気にする3つのヒント～」で、事前の申込・問合せでは市民の関心は大変高かった。講演内容は認知行動療法の第一人者である講師によるわかりやすい、信頼のメンタルヘルス意識を高めるものであります。動画記録により、コロナ禍にある市民の心の癒し所となり、メンタルヘルスの啓発につながることが期待されます。	目標をほぼ達成	A 貢献している	高齢・障害課
	67 区社会福祉協議会との連携	関係各課において必要に応じてお互いが所管する情報のやりとりを行いました。	地域活動を進めるための情報を交換するなど必要な連携をとることができました。	目標をほぼ達成	A 貢献している	区役所各関係部署
(2)支援につながる仕組みづくり  →支援につながる仕組みづくりをすることで、地域のネットワークを強化し、支援を必要とする人々の要望に応えます。	68 川崎市地域見守りネットワーク事業	【全市的取組】 通報件数: 8件				地域ケア推進課
	69 災害時要援護者避難支援制度	川崎市災害時要援護者避難支援制度に登録した方、登録抹消した方の情報を、該当する自主防災組織に送付しました。	個人情報に配慮し、適切に送付しました。	目標をほぼ達成	A 貢献している	危機管理担当
	70 民生委員児童委員の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員児童委員の委嘱・解説に係る事務(町会自治会への候補者推薦依頼、推薦会を開催、新任者への研修会の実施)</li> <li>・欠員解消に向け、町会自治会への推薦依頼及び市民への広報</li> <li>・市民から民生委員児童委員に対する相談・依頼の窓口</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度2名が委嘱され、5名が任期途中で辞任されました(3月15日現在)。</li> <li>・欠員地区解消のため、欠員地区的町会自治会へ候補者推薦依頼を文書で3回、電話での聞き取りを2回行いました。また、区町会連合会及び各地区町会連合会の役員会で推薦依頼を行いました。</li> <li>・市政より多摩区版1月1日号の特集に民生委員児童委員の活動紹介記事を掲載しました。</li> <li>・市民からの相談や依頼があった際は、民生委員児童委員と情報共有・連携を行いました。</li> </ul>	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	71 多摩区子育て支援バースポーツ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行枚数1,635枚(令和3年2月末現在)、協賛店96店</li> <li>・協賛店の確認、協賛店ガイドの更新(令和3年2月3,000部)</li> <li>・多摩区子育て支援バースポーツカードの改訂(令和3年2月3,000部)</li> <li>・当該事業ホームページのリニューアルを実施(令和2年4月)</li> </ul>	子育て世帯やこれから出産を控えた世帯に、地元商店街で各種サービスが受けられる「多摩区子育て支援バースポーツ」を発行することで、商店街に行きづらいをし、地元商店街等による子育て世帯への声かけが行われました。また、情報提供の拡充として、ホームページのリニューアルを実施しました。	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域ケア推進課
	72 ひとり暮らし等高齢者見守り事業	【全市的取組】				高齢・障害課
(3)相談・支援体制の充実  →様々な関係団体等と連携を強化することで、相談・支援体制の充実を図ります。	73 こんなにちは赤ちゃん訪問事業	【全市的取組】 新型コロナウイルス感染症対策のため、緊急事態宣言中は、郵送対応、延期等で対応しました。 訪問実施時は感染予防対策を実施し、R2.4月～R3.1月まで150件弱の訪問を実施しました。				地域支援課
	74 幼児の発達支援事業	コロナウイルス感染症対策のため、4～6月は中止し7月から事業再開。7月10か月児から2歳3か月までを対象とした教室を月に1回開催し1回あたり平均10～11組参加がありました。2歳3か月から3歳までを対象とした教室を月に1回開催し、1回あたり平均7～8組参加がありました。	子どもの発達特性に応じた支援を行うことで育児負担を軽減し、子どもの発達を促すことができました。個別相談も合わせて必要な支援につなげることができます。	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	75 多摩区こども相談窓口	こども相談窓口をまとめた案内チラシを9000部作成し、幼稚園・保育園・小中学校や児童福祉施設等関係機関と保護者に配布し周知しました。 今年度から始まったLINE相談の情報を追加し、周知しました。	新型コロナウイルスの影響で休園・休校や地域のサロン等が休止されてしまう中、孤立している保護者や子どもたちが気軽に相談できるよう、電話相談だけでなく新しい始まったLINE相談の情報を追加することで、早めに相談につなげることができます。	目標をほぼ達成	A 貢献している	地域支援課
	76 市民歯科健康事業	【全市的取組】				地域支援課